



Cat[®]ブレーカ

H110 GC、H120 GC

Cat[®] H110 GCおよびH120 GCブレーカは岩石の粉碎やコンクリートの解体における耐久性を考慮して設計されています。cat H110 GCおよびH120 GCブレーカは、強力な油圧システムを備えているうえにメンテナンスエリアにすぐに手が届くよう設計されているため、全体的な生産性が向上し、メンテナンスコストを削減できます。Cat H110 GCおよびH120 GCブレーカは、道路建設、溝掘り、解体など、多くの用途に適したソリューションです。

地域により、ご使用になれないアタッチメントもあります。お客様の地域でご利用いただける具体的なアタッチメントについては、お近くのCatディーラーにお問い合わせください。

優れた性能

- ブレーカツールの直径が大きいため、衝撃力が高く、現場での硬い岩石やコンクリートの破壊に最適です。
- Cat H110 GCおよびH120 GCブレーカは、強い衝撃力と速い衝撃頻度を重視して設計されており、対象の資材を短時間で破壊して生産性を向上させます。
- Cat H110 GCおよびH120 GCブレーカには、適合する機械を使用した完全な試験と検証が実施されています。その結果、パフォーマンスと互換性が向上します。

信頼性と耐久性

- Cat H120 GCブレーカは、標準の高振動アダプタの採用により、高振動への耐久性が向上しました。
- パワーセルは高品質の合金鋼を使い、2段階の熱処理によって作られており、耐久性の向上とサービスコストの削減を助けます。
- 油圧部品はハウジング内部にあって損傷から保護され、現場でのダウンタイムの短縮に役立ちます。
- Catブレーカラインキットは、リターンオイル経路が独立しているため、メインの油圧システムの汚染を防ぎやすくなっています。

容易なメンテナンス

- スリップフィットと90度回転可能な下部ブッシュによって現場での交換が簡単になるため、サービス時間の短縮と耐用年数の延長が期待できます。
- メンテナンスエリアにすばやく手が届くため、ブレーカを簡単にメンテナンスできます。
- ブレーカを機械に取り付けたまま、日々の工具の点検を実施でき、地面から給脂箇所到手が届きます。
- ハードウェアへの接続が強化され、ボルト締めのプロセスが簡単になったため、ジョイントの強度が上がって耐久性がもたらされ、ブレーカ自体の寿命が延びました。

技術仕様

機種	ビルド	取付け	推奨キャリア質量				1分あたりの打撃数		運転質量		定格流量				動作圧力				ツール直径	
			最小		最大		最小	最大	最小	最大	最小		最大		最小		最大		mm	in
			ton	lbs	ton	lbs			kg	lb	lpm	gpm	lpm	gpm	kPa	psi	kPa	psi		
H110 GC	-04	サイド部	10	22,046	18	39,680	350	700	801	1,766	80	21	100	26	14,700	2,132	16,600	2,408	100	3.9
H110 GC	-04	上部	10	22,046	18	39,680	350	700	917	2,022	80	21	100	26	14,700	2,132	16,600	2,408	100	3.9
H120 GC	-04	サイド部	18	39,683	30	66,140	350	550	1,827	4,028	120	32	180	48	15,700	2,277	17,700	2,567	140	5.5
H120 GC	-04	上部	18	39,683	30	66,140	350	550	2,004	4,418	120	32	180	48	15,700	2,277	17,700	2,567	140	5.5

Cat製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト (www.cat.com) をご覧ください。

© 2024 Caterpillar
All rights reserved

この製品に使用されるマテリアルと仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", Cat "Modern Hex" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

GJHQ9333-00 (02-2024)
(Afr-ME, Eurasia, Japan,
S Am, SE Asia)

